

平成28年度第1回

恵那市男女共同参画プラン推進委員会【要約】

日時：平成28年7月25日（月）午前10時00分～午後0時10分

場所：恵那市役所 西庁舎 災害対策室A・B

-
1. 開会
 2. 委嘱書の交付
 3. 市長あいさつ
 4. 委員自己紹介
 5. 会長及び副会長の選出
 6. 会長及び副会長あいさつ
 7. 議事
 - (1) 第2次恵那市男女共同参画プランについて
 - (2) 恵那市の男女共同参画に関する取組経過等について
 - (3) 恵那市男女共同参画プラン推進委員会の運営について
 - (4) 第2次恵那市男女共同参画プランの進め方について
 - (5) プランの施策に関連する総合計画実施計画事業
 - (6) その他
 8. 閉会
-

■出席者

坪井弥栄子会長、亀井邦子委員、伊藤正明委員、勝富子委員、鈴木栄子委員、堀有希委員、村松訓子委員、三浦みゆき委員、保方多津美委員、奥村ひとみ委員、山田英明委員、足立伊公子委員、松尾かおり委員、佐藤暁彦副会長

■欠席者

吉村綾子委員、渡辺熙之委員、松永晴美委員

1. 開会

■司会（事務局）：

委員会の主な目的は、委員の意見を行政の事業に反映すること。委員は20名以内。会長、副会長を各1名。任期は2年。〔資料確認〕

〔資料確認〕

2. 委嘱書の交付

〔市長から委嘱書を交付〕

3. 市長あいさつ

■市長：

・このプランは、平成27年度に16名の委員で策定。実行されてこそ意味がある。委員の皆さんには進行管理をして頂きたい。

・第2次総合計画をスタート。その一環が、男女共同参画プラン。その中で、委員会などへの女性の登用率40%を目標としている（現在は23%）。

・国も女性の活躍を進めようとしている。

・市のある委員の選任の決裁で女性委員の登用率が1割強しかなく、差し戻した。推薦を依頼したが、女性が推薦されて出てこないという理由であった。行政にも責任はありますが、女性の皆様もそういう機会があれば率先して参加していただきたい。

・人口減少対策という視点でも、そういった男社会の見方で若者が定着してくれるのか、と思う。先日開催された若者会議でも、女性の数が少ないという意見が出た。あらゆる場で男女共に色々な話をしてもらいたい。

・素晴らしいプランを作っていただきましたので、是非これが実行されるような進行管理をよろしくお願いします。

4. 委員自己紹介

〔委員自己紹介〕

〔事務局自己紹介〕

■事務局：

・市長公室に、各分野7名の政策推進監が兼務となっている。みなさんのご意見は分野横断的に政策推進監に伝えて進めていきたいと思っている。

・今後の会議は必要に応じて議事内容に関係する部署の職員を出席させていただきたい。

5. 会長及び副会長の選出

■事務局：推進委員会設置要綱第5条第2項の規定により、会長、副会長は委員の中から互選。選出について意見はありますか。

■委員：事務局案はありますか。

■事務局：事務局案を発表する。会長を策定委員会で委員長をされた坪井弥栄子さん、副会長を男女の視点から佐藤暁彦さんをお願いしたい。

■委員：異議なし。拍手。

■事務局：お二人よろしいでしょうか。それでは、会長を坪井さん、副会長を佐藤さんをお願いします。

6. 会長及び副会長あいさつ

■会長：

・男女共同参画という言葉はあるが、なかなか進んでいないのが現状。

・平成14年から男女共同参画に携わってきて、時代の流れで少しずつ中身が変化してきている。国・県・市が決めた事を、地域、会社、行政などで少しずつ取り上げていただき、大きな会社は待遇が改善してきているが、中小企業やそれより小さな規模の働く場所ではなかなか浸透しておらず、福祉の面が際立って低下しているという問題がある。

・女性委員40%の目標達成には、「勇氣」と「実行」が大切だと思っている。男性は女性に席を譲る勇氣、女性はそれを受ける勇氣。それを続けることにより、あらためて男女共同参画を唱えなくても当たり前になっていくのではないか。市民がこういった考え方を自分のものにしていけるような協力、推進をしていきたい。

■副会長：

・この会が実りあるものとなるよう、坪井会長のサポートをしていきたい。

・私なりの新しいものの考え方、切り口などを提案させていただきたいと思う。

・この会が人口減少対策チームの中で行われていることが表すように、男女共同参画社会は、恵那市が持続していくために必要な下地・土壌である。自然にそういう気持ちになれるというものを育て理解していったときに初めてこの取り組みが機能してくると思うので、私たちの役割は重要だとあらためて感じている。

■事務局：市長はここで退席させていただく。これより議事に入りますが、議事の進行は要綱により会長をお願いします。

7. 議事

(1) 第2次恵那市男女共同参画プランについて

■会長：事務局に説明を求める。

[事務局から資料に基づき説明]

(2) 恵那市の男女共同参画に関する取組経過等について

■会長：事務局に説明を求める。

[事務局から資料に基づき説明]

■委員：「男の料理教室」は違う。女性も参加している。

■会長：初期はそのイベントだったが、現在は女性も参加している。

■委員：企業への啓発として何をしてきたか。

■事務局：行政から具体的なアクションなし。プラン策定時の相談や、企業アンケートを実施したのみ。第2次プランではこのあたりも充実していきたい。

■会長：商工会議所の理事会や代表者会議へ概要版で説明をしてきた。その際、「趣旨は分かるが、資料配付までしか・・・。」と言われた経緯がある。今回の推進委員会では、商工会議所からの選出の方などもみえるので、もう少し浸透していくのではないかと考えている。

■委員：初期は「サラリーマンと女性会議」が活動していたのではないかと。

■事務局：平成11年以前に恵那市で始めた、総合計画に女性とサラリーマンの声を反映させようとした取り組み。

■会長：経過から、恵那市ではずいぶん昔から男女共同参画に力を入れている事が分かるが、それが絵に書いた餅になっていると感じている。今、地域の各種委員に女性が参画してくださっているし、男女のネットワークからも色々な会議に出ているが、人選の際の分母が限られているので推進委員会からも色々な会議に出ただけだとありがたいし、そういった母体にもなれたらいい、要請があった際にはお願いしたい。

(3) 恵那市男女共同参画プラン推進委員会の運営について

■会長：事務局に説明を求める。

[事務局から資料に基づき説明]

(4) 第2次恵那市男女共同参画プランの進め方について

■会長：事務局に説明を求める。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長：

- ・必要があれば、計画以外に随時会議を開催する。
- ・先日、若者会議が開催され、女性が活躍する場が欲しいという意見がたくさんあった。子育て中、子どもが学校へ行って帰ってくるまでの短い時間に集中してできる仕事がないか。女性は自分の時間が欲しくて、それを仕事にまわしたい考えの方が多い。仕事をして得たお金を子どもに使うにしろ自分に使うにしろ、余裕のある生活をしたということを

中心に考えてみえた。その働き方は、パートのような知らない人の中で働くのではなく、知っている人が集まって働くような、企業ではなく、小さなつながりで働く女性を増やしていきたいというような意見だったように思う。行政が出してくる、女性が活躍する場をつくる新しい施策もそれに該当すると思う。

・女性活躍推進法で事業主行動計画を策定されているが、それを従業員に浸透させて実行していく事も、男女共同参画の一つになると思う。中小企業にはそういうものがないので、この会へ出てきて下さっている、商工会議所の方、女性のフォーラムの方や行政からそういったところへ話をしに出向くといったような事も必要かなと感じている。

■委員：男女共同参画を進めるための行事などは市から出されるのか。また、山岡のレディースネットワーク（10以上のグループをまとめたもの）が高齢化で解散するが、それはどこが支援するのか。

■事務局：女性の活躍できる地域作りが狙い。地域の中でレディースネットワークという組織が担う事が負担になってきてしまったのだと思う。山岡なら運営委員会ができていると思うので、その中へ再度こういう事をやっていきたいという事を伝えて頂き、地域の人や団体の声を伝えてつないでいく事になると思う。特定の課・組織と言うことで無く、既存の組織や地域作り団体で「テーマ」として取り組むことになる。行政も支援をしていく。

■委員：図書室にプランは設置されているか。副区長（女性）にも配布したい。

■会長：推進委員会の構成団体へはプラン概要版をある程度渡していただくといいと思う。

■事務局：確認する。（プランの設置場所の確認、推進委員会の構成団体（区長）への配布）

■委員：

・自治区会長会議等で、現在こういう計画があって、今年はこの事をやりますという発表はあるのか。計画自体初めて聞いたし、どんなことをやってきたのか見えなかった。なかなか地域にこういった情報が降りてこない。

・自分たちの地域は自分たちで守る必要あり、若い人は子育てに、中高年は介護に、高齢者は自らの生活に忙しいが、このような計画がある事を知っていれば、みんなで集まって、それぞれが何か出来るのではないかと思う。

■会長：意識の問題で解決できる事がたくさんあると思う。第1次プランでは、地域で秋の夜長の勉強会というものを開催した。恵南地区は、岩村公民館で200名超。笠周地区は、恵那北中学校で。中央地区は、文化センターで。平成19年度に1度やったきり、その後は行っていない。そこへ来た方は、概要版を使ってやったので分かっている。高齢者、障がい者、子育てなど意識で改善できる部分がたくさんある。広報でも回覧でも目を通してもらう機会をつくと良い。

■委員：広報での紹介では、優しい、分かりやすい、目を通しやすいものにしたらどうか。例えば、家庭は女性の地位も高く大丈夫。「地域が課題」＝“長は男性”を改める必要あり

など。

■委員：計画書の全戸配布できなかった。回覧されたが、意識に残っていない。一番大切なのは、「市民・地域・事業主」を変えていくこと。大変良いプランだと思うので、PRの仕方を工夫して発展させていきたい。

■事務局：男女共同参画を進める上で意識づくりが大切だが、PRが出来ていなかったというのが一番大きい。今年度からは9/1号の広報を皮切りに継続的にできるような啓発の仕方を考えたいと思う。

■委員：正家第二土地区画整理は実行できるか。あそこが若者が住みたい街になれば人口も増えるかもしれないし、高齢化社会の起爆剤にもなるかもしれないので、期待している。

■事務局：計画は進んでいる。商業施設だけではなく、若者が住む場所も確保している。

(5) プランの施策に関連する総合計画実施計画事業

■会長：事務局に説明を求める。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長：最後に、今日発言いただいている方から今日の会議の全体を通じての感想やご意見をいただきたいと思います。

■委員：まだ話を聞いていても少ししか頭に入らず、よく分からなかった。

■委員：次回までには取り組みの成果などが見えてきて、データを提供してくれるのか。

■事務局：

・総合計画を今年から実施していて把握できている取り組みがこの資料である。成果は年度末になれば分かってくるが、現段階ではこの程度の資料しか出せない。次回は提言と書いてあるが、現在の取り組みに対して、もう少しこういう事を取り入れたらどうだろうか、もう少しここに力を入れたらどうだろうかというご意見を、委員のみなさんのご経験によるものでも何でもいいのでいただくと、それが本当に男女共同参画を起爆剤にした人口減少対策になるようなものであれば、来年度の当初予算等にも取り入れていけるかと思う。それには総合計画を読んでいただく必要があるが、簡潔にまとめたものがこの資料となっている。

・来年度の当初にこのような会議を開催する際には、本年度の取り組み成果を示せる。その場合、来年度の早い時期であれば当該年度の補正予算に反映する事も可能。必ずしも当初予算に向けた意見を下さいというものではない。

■会長：提言をするための資料はこれになるということ。

■委員：

・公募市民の枠がまだあるので増やしてはどうか。

・社協では、13地域で懇談会を行っている最中。ニーズの掘り起こしで、男女共同参画に

も関わる話ができる課題の取りまとめが出れば今後の会議の中でもお話させて頂きたいと思う。

■委員：

・職員研修に期待している。職員が各種委員等を依頼する際は女性を口説いて出番を作ること。

・イベントや講演会のニーズはあまり高くない。その場に来ない人には伝わらない。来ない人にも伝わる工夫をしていく必要がある。

・分野ごとのリーフレットによる啓発なども、キーマンになる対象者に配るなど、効果を考えて行ってほしい。

■委員：

・会社の経験からも、市民へ考えを伝えることは本当に難しいと思うが、やることだけで満足している感があるので、やったことの効果、またそれをどうしていくかを考える必要がある。

・委員として何をやるのかがピンとこない。就任し何かしたいと思ってここに来ているので、「意見ないですか」だけではなく、「これやって下さい、あれやって下さい」という事などを考えて委員会へ持ってきてもらうという事も必要かなと思う。

■委員：「多様な文化の理解」の施策はどうなっているのか。市の方針は。

■事務局：国際交流協会での取り組みに限定されている。金銭的な支援ではなく、日本語教室などの生活する上での支援はある。

■委員：外国の方を市として受け入れていくつもりか、そうではないか。

■事務局：現在、外国人の労働者は恵那市では多くない。労働力不足が日本中で起こっており、経済界を主に海外労働者を受け入れるような要請ある。学校教育の中などでも、人数が少なく大きな課題や取り組みになっていない分、現場では課題として残っている。

■副会長：誰に伝えたいのかを考えながらPRを進めていただき、効果の検証もあわせて行っていただきたい。

(6) その他

■事務局：

・委員謝礼支払いについて説明。必要な方へは、諸手続き（口座登録・マイナンバー届出）の依頼。

・次回会議は9月を予定。日程は後日通知する。

8. 閉会

■会長：

- ・事前に資料を配布してもらおうとさらに良い会議となるかと感じた。
- ・ここへ来て何か役に立ちたいという委員の方の想いを大切にしないといけないなと感じた。ご意見を頂いて少しでも前に進めるというのが本当の会議だと思うので、最後に皆さんからご意見いただいて本当に良かったと思う。
- ・これで閉会します。